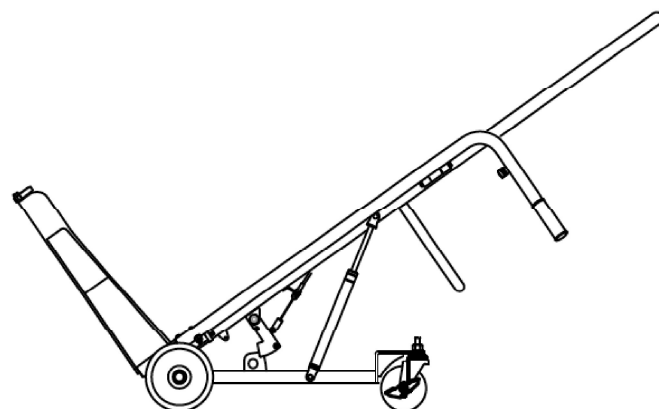


取扱説明書
タイヤ4本搬送台車
NTP-217A



⚠ 警告

本製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。

この取扱説明書はいつまでも使用できるように大切に保管してください。

 **長崎ジャッキ株式会社**

まえがき

このたびは、長崎ジャッキのタイヤ4本搬送台車をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。


取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等をよく読んで使用頂かないと、十分能力を発揮できないばかりかタイヤの破損や人身事故につながりますので、十分理解した上で、正しく使用してください。


お買い上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売会社までお問い合わせください。


尚、取扱説明書及び警告ラベル等貼付ラベルは大切に使用してください。万一紛失・汚損された場合は速やかに購入の上、正しく保管してください。

警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止の為に重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してください。

 **危険**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重症を負う危険が切迫して生じる事が想定される場合。

 **警告**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重症を負う可能性が想定される場合。

 **注意**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合及び物的損傷のみ発生が想定される場合。

目次

1.使用目的	2
2.警告・注意事項	2
2-1 警告事項	2
2-2 注意事項	3
2-3 ラベルの貼付位置とラベルの名称	4
3.構造及び各部の名称	4
3-1 フォーク部の組み立て	4
3-2 構造及び各部の名称	6
4. 使用方法及び使用上の注意	7
4-1 始業点検	7
4-2 使用前の準備	8
4-3 タイヤの抱え方	8
4-4 タイヤの搬送	9
4-5 タイヤの降ろし作業	11
4-6 タイヤの積み込み作業	12
4-7 タイヤの搬送(積み込み作業より)	13
4-8 タイヤの設置・収納	13
4-9 終業点検と保管	14
5.定期点検	15
5-1 点検	15
5-2 可動部への給油	16
5-3 ブレーキワイヤーの調整	16
5-4 ナイロンボルトの調整	17
6.仕様	17
7.故障と処置	18
8.品質保証規定	18
8-1 保証規定	18
8-2 保証請求方法	19
8-3 アフターサービスについて	19

1.使用目的



このタイヤ搬送台車は軽自動車から普通自動車のタイヤを重ねて保持し、任意の位置まで搬送するための補助機器です。

2.警告・注意事項

このタイヤ搬送台車をご使用いただく上での人身事故やタイヤの破損を防止する為の重要な事柄が記載されていますので、必ずよく読み理解してから使用してください。

2-1 警告事項

警告

	<p>操作は、操作方法を熟知した人以外使用禁止。</p> <p>※誤った操作方法が原因で事故が発生します。</p>
	<p>取扱説明書をよく読み、理解してから使用する事。</p> <p>※重要警告事項の説明あり。警告事項に従わないと重大事故につながります。</p>

2-2 注意事項

注意

一般的な注意事項

1. タイヤ搬送以外での使用禁止。
2. 能力以上での使用禁止。
3. タイヤ搬送台車の改造は禁止。

使用上の注意

1. 作業前に必ず始業点検を行うこと。
2. タイヤの4本以上の搬送は禁止。
3. タイヤがフレーム部に当たるまで前進して抱え込むこと。
4. フォーク部が正確にタイヤを保持しているか必ず目視で確認すること。
5. 偏荷重で使用しないこと。

操作上の注意

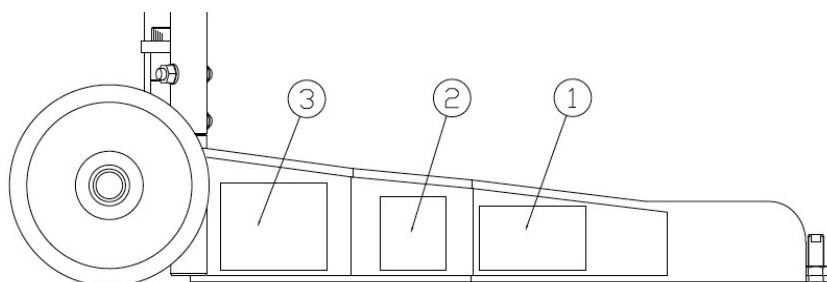
1. 平坦な地面で使用するこゝと。
2. 搬送姿勢への移行はゆっくりと行うこと。
3. 凹凸のある地面で搬送しないこと。
4. ハンドルを両手でしっかりと持ち安全を確認しながらゆっくり搬送すること。
5. 段差のある場所を搬送する時は後車輪を段差にぶつけないこと。
6. 搬送中は作業者に近づかないこと。
7. タイヤ搬送は搬送姿勢にしてから搬送すること。
8. タイヤを降ろす時はスタンドを必ず地面に接地すること。
9. タイヤを降ろす時は後車輪にロックをかけること。
10. 搬送姿勢から抱え込み姿勢への移行はステップに足をかけゆっくりと行うこと。

保管上の注意

1. 必ず収納姿勢で保管すること。
2. 保管場所は屋内に保管のこと。

2-3 ラベルの貼付位置とラベルの名称

NO.	種類
①	型式・能カラベル
②	警告ラベル
③	注意ラベル

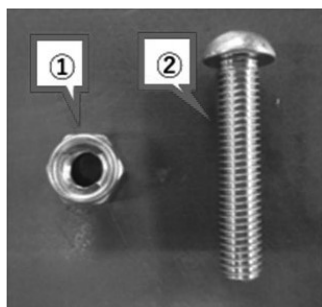


⚠ 注意

警告ラベルは大切に扱って頂き、汚損したり剥がれた場合はお買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。

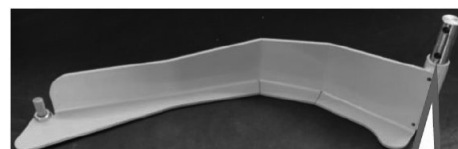
3.構造及び各部の名称

3-1 フォーク部の組み立て



必要部品

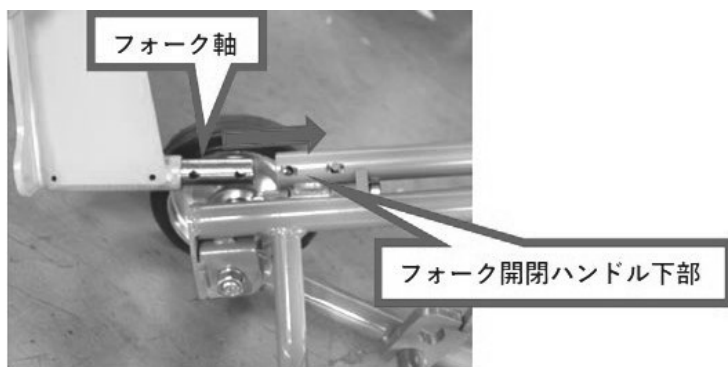
- ① Uナット × 4
- ② 六角穴付きボタンボルト × 4



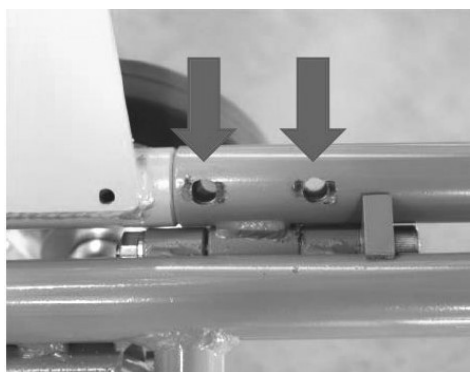
フォーク部 (L・R各1)
※写真はR側です

フォーク軸

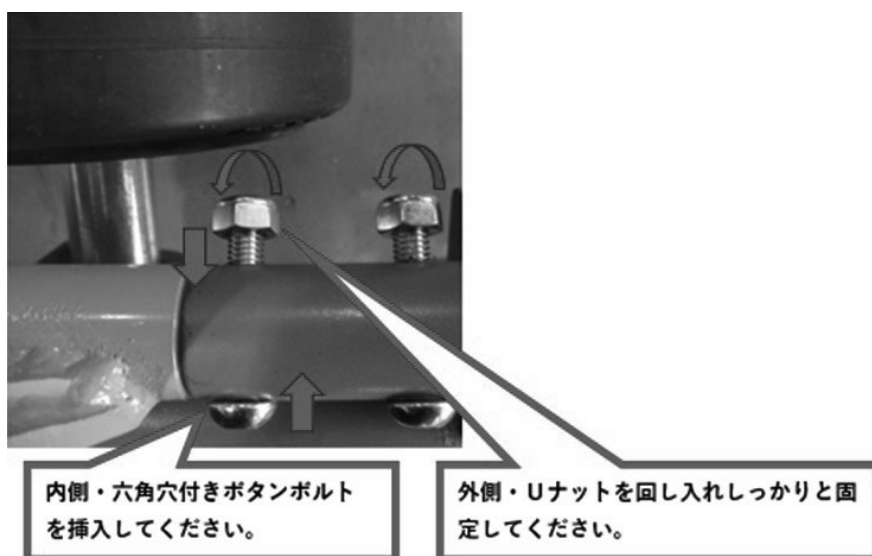
1.フォーク軸をフォーク開閉ハンドル下部に差し込みます。



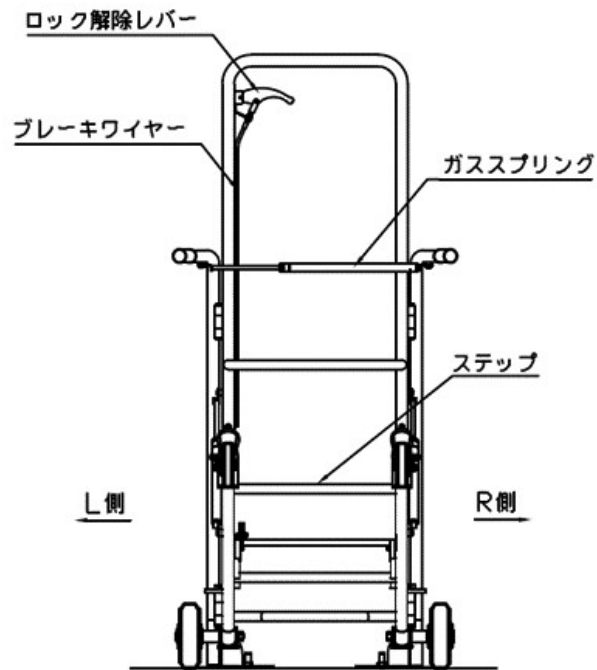
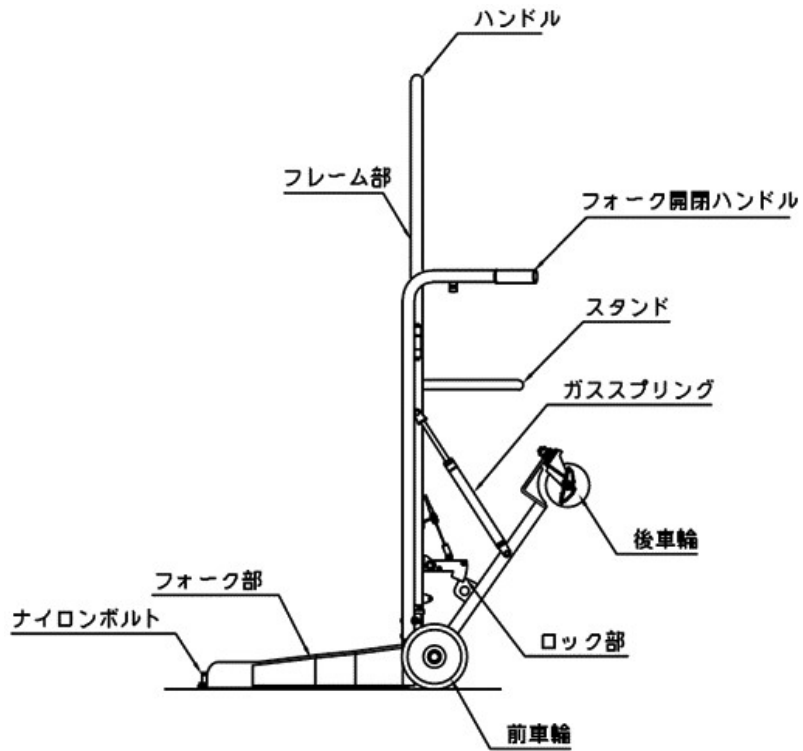
2.フォーク軸とフォーク開閉ハンドル下部の穴位置を合わせます。



3.フォーク開閉ハンドル下部の内側から六角穴付きボタンスボルトを挿入、外側からUナットでしっかりと固定してください。



3-2 構造及び各部の名称



4.使用方法及び使用上の注意

警告

このタイヤ搬送台車の操作は、使用方法を熟知した人以外使用しないこと。

4-1 始業点検

毎日作業前に必ず始業点検を行ってください。尚、点検はタイヤ搬送台車にタイヤを載せない状態で行ってください。

注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでタイヤ搬送台車の使用を禁止して、直ちに販売会社まで連絡してください。そのままお使いになりますとタイヤ搬送台車の破損及び重大な事故につながる危険があります。

※6 ページの各部の名称を参照してください。

点検箇所	内容	点検方法
車輪	スムーズに回転するか	目視及び、移動させて点検
フォーク部	開閉を行ったとき、各部が円滑に作動するか、把握力が低下していないか	目視及び触感
タイヤ搬送台車全体	変形、破損等異常はないか	目視

4-2 使用前の準備

タイヤ搬送台車はタイヤの搬送のみを目的として使用するものです。

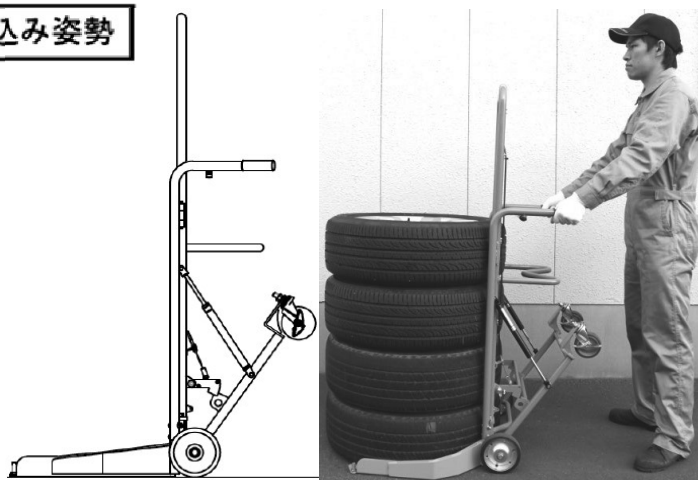
搬送するタイヤのチェック

- ・ 搬送するタイヤが許容荷重内であるか確認してください。
- ・ 搬送するタイヤ径が適応タイヤ径であるか確認してください。
- ・ 搬送するタイヤ径が4本全て同じ径であるか確認してください。

4-3 タイヤの抱え方

- ・ タイヤ搬送台車を搬送するタイヤの正面に移動します。
- ・ フォーク開閉ハンドルでフォーク部を開き、タイヤがフレーム部に当たるまで前進しタイヤを抱えてください。
- ・ フォークが正確にタイヤを保持しているか必ず目視で確認をしてください。

図・抱え込み姿勢

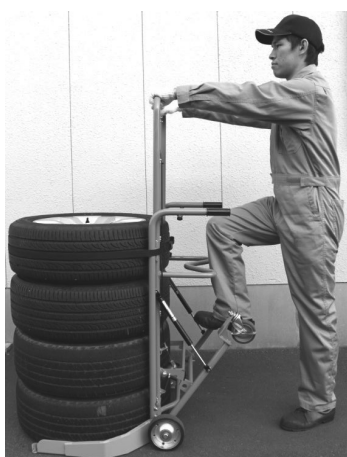


⚠ 注意

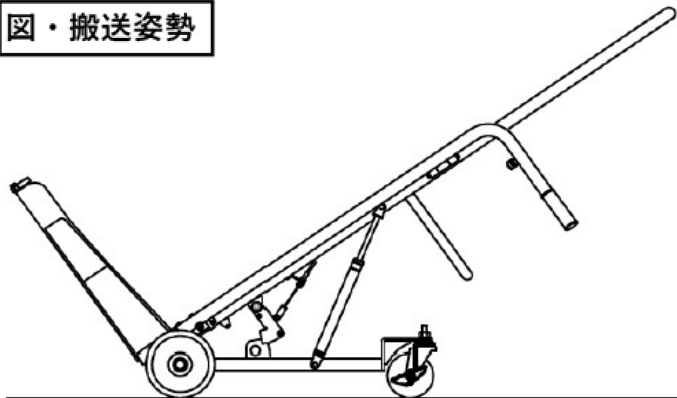
1. タイヤを4本以上積載しないでください。タイヤの落下の危険性があります。
2. タイヤがフレーム部に当たるまで前進して抱えてください。タイヤの落下、人身事故の危険性があります。
3. フォーク部が正確にタイヤを保持しているか必ず目視で確認をしてください。タイヤの落下の危険性があります。
4. 偏荷重で使用しないでください。タイヤ搬送台車の横転、人身事故の危険性があります。。
5. タイヤの抱え込み、積み降ろしは平坦な地面で行ってください。

4-4 タイヤの搬送

- フレーム上部のハンドルを両手でしっかりと持ってください。
- ステップに足をかけてください。
- 後車輪が地面に接地するまでゆっくりとタイヤ搬送台車を搬送姿勢にしてください。
- 両手でハンドルをしっかりと持ち、安全を確認しながらゆっくり搬送してください。



図・搬送姿勢



 注意

- 1.抱え込み姿勢から搬送姿勢への移行はゆっくりと行ってください。タイヤが前傾し落下する危険性があります。
- 2.凹凸のある地面で搬送しないでください。タイヤ搬送台車が振動し、タイヤが落下する危険性があります。
- 3.能力を越えるタイヤは搬送しないでください。タイヤ搬送台車の破損及び人身事故につながる危険性があります。
- 4.ハンドルを両手でしっかりと握り、安全を確認しながらゆっくり搬送してください。特にタイヤを1本で搬送する際は不安定でタイヤが落下する危険性があります。
- 5.段差のある場所を搬送する時は後車輪を段差にぶつけないこと。
- 6.搬送中は作業者に近づかないでください。重大な事故につながる危険性があります。

4-5 タイヤの降ろし作業

① 搬送姿勢からタイヤ降ろし姿勢への移行

- ハンドルを少し持ち上げてください。
- 搬送姿勢でロック解除レバーを握ってください。
- ハンドルを持ちながらゆっくりスタンドが地面に接地するまで下げてください。
- ロック解除レバーを離してください。
- ハンドルを少し持ち上げロック部がかかっているか確認してください。



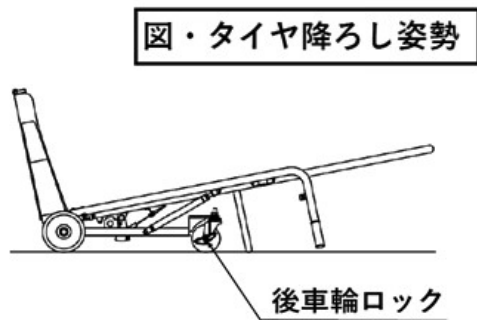
⚠ 注意

1. 搬送姿勢からタイヤ降ろし姿勢への移行はゆっくりと行ってください。タイヤが落下する危険性があります。
2. 必ずロック部がかかっているか確認してください。

② タイヤの降ろし作業

- タイヤ搬送台車が動かないように後車輪にロックをかけてください。
- 3本のタイヤを1本ずつゆっくりと降ろしてください。
- 後車輪のロックを解除してください。
- ハンドルを持ち、ロック解除レバーを握り、上方へゆっくりと引き上げてください。
- 後車輪を地面より少し浮く程度まで引き上げてください。
- ロック解除レバーを放し、ハンドルを下方へゆっくりと下げ、後車輪を地面に接地させ搬送姿勢に移行してください。
- ハンドルを持ち、上方へゆっくりと引き上げてください。

- ・ ステップに足をかけ、タイヤと人のバランスを保ちながらゆっくりと抱え込み姿勢へ移行してください。
- ・ フォーク開閉ハンドルでフォーク部を開き、4本目のタイヤを地面へ降ろしてください。



⚠ 注意

1. タイヤを降ろす時はスタンドがしっかり地面と接地していることを確認してください。タイヤ搬送台車がバランスを崩し、タイヤが落下する危険性があります。
2. タイヤを降ろす時は必ず後車輪にロックをかけてください。タイヤ搬送台車が動き、タイヤが落下する危険性があります。
3. 4本目のタイヤは抱え込み姿勢で降ろしてください。タイヤ降ろし姿勢のまま降ろすとタイヤを降ろした際にフォーク部が閉じ、人身事故の危険性があります。

4-6 タイヤの積み込み作業

- ・ 抱え込み姿勢で搬送するタイヤ1本を抱えてください。
- ・ タイヤ搬送台車をタイヤ降ろし姿勢にしてください。
- ・ 後車輪のロックをかけてください。残りのタイヤを1本ずつゆっくりと積み込んでください。
- ・ 後車輪のロックを解除してください。



4-7 タイヤの搬送(積み込み作業より)

- ・ ハンドルを持ち、ロック解除レバーを握り、上方へゆっくりと引き上げてください。
- ・ 後車輪を地面より少し浮く程度まで引き上げてください。
- ・ ロック解除レバーを放し、ハンドルを下方へゆっくりと下げ、後車輪を地面に接地させてください。
※必ずロック部がかかっているか確認してください。
- ・ 搬送姿勢でタイヤを搬送してください。



⚠ 注意

必ずロック部がかかっているか確認してください。タイヤ搬送台車が不安定になり人身事故の危険性があります。

4-8 タイヤの設置・収納

- ・ 目的の場所へタイヤを搬送してください。
- ・ ハンドルを持ち、上方へゆっくりと引き上げてください。
- ・ ステップに足をかけ、タイヤと人のバランスを保ちながらゆっくりと抱え込み姿勢へ移行してください。
- ・ フォーク開閉ハンドルでフォーク部を開き、タイヤ搬送台車を引き出してください。



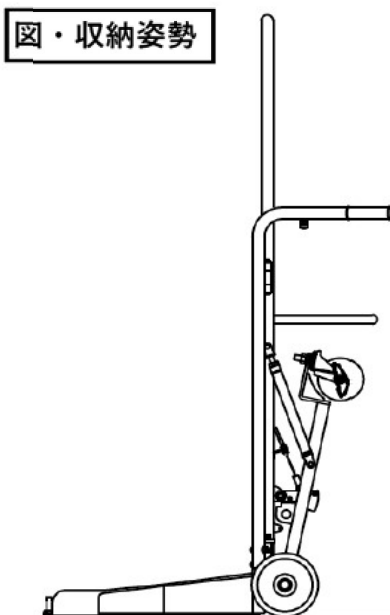
⚠ 注意

抱え込み姿勢への移行は必ずステップに足をかけゆっくりと行ってください。タイヤが前傾し落下する危険性があります。

4-9 終業点検と保管

作業が終了したらフレーム部、フォーク部に付着したゴミをきれいに拭き取ってください。この時、ラベル等が汚れて見えなくなったり、タイヤ搬送台車に異常が発見された場合、直ちに販売会社に連絡してください。また安全のため本体は収納姿勢で保管してください。

※収納姿勢とはタイヤ降ろし姿勢のまま直立させた状態のことを示します。



⚠ 注意

1. 本体が倒れて思わぬケガをする危険がありますので、必ず収納姿勢で保管してください。
2. 必ず屋内に保管してください。

5.定期点検

5-1 点検

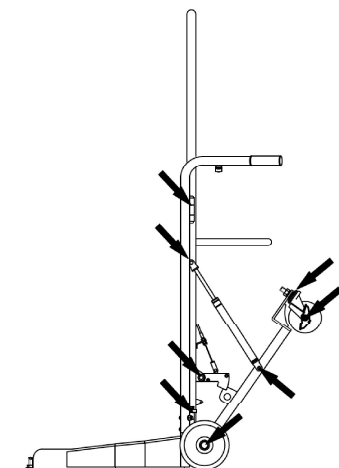
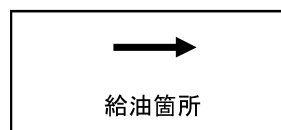
安全に使用して頂く為に、必ず定期点検を実施してください。

点検期間	点検箇所	点検項目	点検方法	保守要領
2 週間	フォーク部	・破損、変形、磨耗	・目視 ・触感	破損、変形、著しい磨耗は交換
	フォーク部の開閉	・把握力が低下していないか	触感	交換
	ナイロンボルト	・破損、変形、磨耗	目視	・調整 ・交換
	前車輪 後車輪	・破損、変形、磨耗 ・回転はスムーズか	目視	・破損、変形、著しい磨耗は交換 ・給油
	ガスプリング	・破損、変形、摩耗 ・ガス漏れはないか	目視	交換
	ロック部	・破損、変形、摩耗	目視	破損、変形、著しい磨耗は交換
	ブレーキワイヤー	・伸び、切断	目視	・調整 ・交換
	ハンドル部	・破損、変形、磨耗	目視	破損、変形は交換
	各ネジ部	・破損、変形、緩み	目視	・緩みは増し締め ・破損、変形は交換
	止めリング 割リピン	・変形、破損、外れ	目視	・外れは組み直す ・破損、変形は交換

5-2 可動部への給油

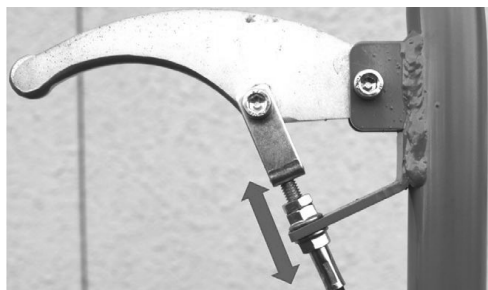
※可動部への給油は2週間に1度以上行ってください。

グリース:スプレー式グリース等、浸透性の良いグリース



5-3 ブレーキワイヤーの調整

- ・ ブレーキワイヤーはロックを解除するためのワイヤーです。ロック部が解除されない場合に調整を行ってください。
- ・ ブレーキワイヤーの上部・下部にある2箇所の調整用ナットを緩め、上下に移動させてロックの開閉の調整をしてください。
- ・ 調整が終わりましたら、必ずナットを締めてください。



5-4 ナイロンボルトの調整

- ・ ナイロンボルトは床のキズを防止するためのボルトです。
- ・ 床と接地する度に摩耗します。ナイロンボルトが摩耗したらナットを緩め、ナイロンボルトが床に接地するように回し下げてください。(3 mm程度)
- ・ 調整が終わりましたら、必ずナットを締めてください。



6.仕様

型式	NTP-217A
許容荷重(kg)	200
積載本数(本)	4
適応タイヤ径	φ 530～φ 820
積載高さ(mm)	1200
前車輪径	φ 150
後車輪径	φ 100
タイヤ抱え込み	手動開閉
姿勢位置	抱え込み姿勢、搬送姿勢 タイヤ降ろし姿勢、収納姿勢
重量(kg)	29

7.故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度確認してください。

異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をし、それでも不具合がある場合は、お買い上げの販売会社へご連絡してください。

症状	原因	処置
搬送中異音や振動がある	1.異物のかみこみ 2.ボルト、ナットのゆるみ 3.フレーム等の変形、損傷	1.異物を除去する 2.増し締めする 3.フレーム等を交換する
フォークが閉じない	1.ガススプリングの破損 ガススプリングのガス抜け 2.フォーク部ボルト、ナットのゆるみ	1.ガススプリングの交換をする 2.増し締めをする
ロック解除レバーを握っても姿勢が変わらない	・ロック解除レバーのブレーキワイヤーの伸び、断線	・ブレーキワイヤーの調整 ・ワイヤーの交換をする
タイヤ降ろし姿勢から搬送姿勢に移行時、ガススプリングに力がない	・ガススプリングの破損 ・ガススプリングのガス抜け	・ガススプリングの交換をする
タイヤが落ちる	・ガススプリングの力の低下	・ガススプリングの交換をする

8.製品保証規定

8-1 保証規定

取扱説明書、本体注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内(納入後一年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理させていただきます。但し、二次的に発生する損失の保証及び、次の場合に該当する故障は保証致しておりません。

- 1.使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠った為に発生した故障及び損傷。
- 2.製品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- 3.消耗品が損傷し取替えを要する場合。
- 4.火災・地震・風水害・その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。

- 5.指定された純正部品を使用されなかった時に起因する場合。
- 6.日本国外で使用される場合。
- 7.保証請求手続きが不備の場合(例:型式及び機体番号の連絡がない場合など)。尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然損耗する部品、ならびに消耗部品につきましては、保証の適用は除外させていただきます。

 **注意**

このタイヤ搬送台車は防水仕様になっておりませんので、錆、腐食等の水による故障は保証いたしておりません。

8-2 保証請求方法

前記の規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げの販売会社までご一報ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は、大変勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご承知ください。

8-3 アフターサービスについて

- 1.調子が悪い時……………まずこの取扱説明書の[6.故障と処置]の項目をもう一度ご覧になって調べてください。
- 2.それでも調子が悪い時は……………商品保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社へ修理依頼をしてください。
- 3.保証期間中の修理について……………保証期間は納入後 12 ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
- 4.保証期間後の修理について……………有償で対応させていただきます。
- 5.アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げ頂いた販売会社へお問い合わせください。
- 6.お問い合わせ頂く場合は、次の事柄をお知らせください。
型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)

上記事項を下表に必ず記載してください。

型式	
機体番号	
購入年月日	年 月 日
購入店名	社名： 担当者： 住所： 電 話：
故障日・状況	年 月 日
故障日・状況	年 月 日

—MEMO—

お問い合わせは

販売会社名

販売会社へのお願い、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

長崎ジャッキ株式会社

〒447-0854

愛知県碧南市須磨町 5 番地 2

TEL 0566-41-1482

FAX 0566-42-0709